

幼童 鼠 の 話

—— 本會懸賞募集入選作 ——

張 女

ニコニコした大黒様ミ、ニコニコした戎様の二人の神様が居らつしやいました。處でいたづらのねずみが、大黒様の大切にして居らつしやる、大きな袋や俵をメチャメチャにかぢりましたり、戎様の大切な釣竿をかぢり又お釣りになりました鯛をかぢりまして、大層いたづらをいたしましたので、大黒様ミ戎様かねずみをお呼びになり、「これこれねずみ達、お前等はいたづらを止めなければ、夜暗い時物が見えなくなる様にし、又堅い物をかぢる強い歯を弱くしてやるが、それでは困るだらう、だから之れからいたづらを止めろ」ミお仰いました。そこでねずみ達は一週間程はおきなしくしていたづらは致しませんが、又いたづらを初めました。大黒様ミ戎様はトウ／＼お怒りになりました、ねずみは夜になるミ少しも物が見えませず、又

何かかぢろうござしても何もかぢれせん様になさいました、ねずみは大層困りまして、大黒様
ミ戎様の處へあやまりに参りまして、「之れからは決していたづらは致しませんから、ドウゾ
元の通りに夜目の見える様に、又固い物のかぢれる様にして下さいまし、此お禮にはあなた様
のお困りの時にはキットお助け致しますからドウカお許し下さいまし」ミお願ひしましたので、
許しておやりになりました。

或る時大黒様ミ戎様が、山の奥に大層美しく花が咲いて居る事をお聴きになりました、お二
人でお花見にお山にお上りなりますミ、それはそれは美しい花盛りでありました。これは綺麗
だミ喜んでお眺めになつて、お歸りの時も忘れてトウ／＼日が暮れてしまひました。驚いて急
いで山を下りてお出になりますに、暗くなつて道が分らなくなつて困つてお出になる處へ、ね
ずみが大勢お迎ひに來まして二本の紐を持つて一本を大黒様、一本を戎様にお持になる様ミ申
しまして、其紐のはしを大勢のねずみ達がくはへて、山道を樂に下りる事が出来、お歸りが出
來ました。